

1 前提

該当する地域	県下全域 中山間地
設定した経営規模	アスパラガス50 a、白ねぎ50 a、水稻100 a
自家労働	2.5人
その他	アスパラガスは共選場を利用。

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目			○	◎
2年目以降	

凡例：○播種、.....育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、○トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場	木造	30 m ²	1,890,000	30	567,000	567,000	15	37,800	8	264,600	100	10,584
トラクタ	24ps4WD	1 台	2,162,000	5	108,100	108,100	7	15,443	4	46,329	20	371
ロータリ	160cm	1 台	475,000	5	23,750	23,750	7	3,393	4	10,179	20	81
管理機	3.5ps	1 台	223,560	10	22,356	22,356	7	3,194	4	9,581	100	383
動力噴霧機	可搬式6ps	1 台	256,000	40	102,400	102,400	7	14,628	4	43,886	100	1,755
刈払機	肩掛式	1 台	50,400	25	12,600	12,600	7	1,800	4	5,400	100	216
焼却用バーナー	5.1万kcal	1 台	52,430	100	52,430	52,430	7	7,490	4	22,470	100	899
灌水用ポンプ	3ps	1 台	67,200	100	67,200	67,200	7	9,600	4	28,800	100	1,152
低温貯蔵庫	1002ℓ, 290w	1 台	325,500	70	227,850	227,850	7	32,550	4	97,650	100	3,906
軽トラック	660cc	1 台	1,050,000	30	315,000	315,000	4	78,750	2	157,500	100	6,300
グリーンアスパラガス	1年養成	5 10a	1,266,735	100	1,266,735	1,266,735	11	115,158	6	575,787	100	23,032
合計			7,818,825		2,765,421	2,765,421		319,806		1,262,182		48,679

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
グリーンアスパラガス	ウエルカム	全期立茎栽培	1000kg	排水良好、耕土深く、砂壤土から壤土	50a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					燃 料 消費量 (% / 10a)
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
(1年目) 土 壤 改 良	11/上	堆肥	10,000kg	バックホー	○畦の中央(植付け位置)の下を幅40cm、深さ40cmの溝を掘るように深耕する。 溝に堆肥を入れ土を戻す。	4.0	2	8.0	軽油 18.0
定 植 準 備	3/下～4/上	堆肥 苦土石灰 BMようりん 野菜美人 黒マルチ(180cm) 防草シート(150cm) 灌水チューブ(100m)	10,000kg 200kg 60kg 60kg 5本 5本 5本	トタクタ ロータリ	○全層に堆肥、基肥を施用、耕耘し、溝上にうねを立てる(高さ30～40cm、うね幅180～200cm) ○雑草抑制のため、うねにはマルチ、うね間には防草シート掛けを行う。 ○マルチ下にかん水チューブを設置する。	2.0	2	14.0	軽油 9.0
定 植	5/上	パターポット苗	1,250本	人力	○株間35～40cmの1条植える。 50～60日育苗苗を定植する。 (草丈20～25cm)		2	8.0	
倒 伏 防 止	5/中	支柱(180～200cm) フラワーネット(20cm角3目)	334本 500m	人力	○支柱を3m間隔で立て、高さ30cm程度の位置にネットを張る。 ネットは茎の伸長とともに徐々に高くする。		2	6.0	
追 肥	6/上 7/上 8/上	野菜美人 野菜美人 野菜美人	40kg 40kg 40kg	人力	○マルチを除去し、堆肥をうね上に施用する。		1 1 1	3.0 3.0 3.0	
か ん 水	5/下～8/下			かん水ポンプ	○干ばつ時には適宜かん水する。	3.0	1	3.0	ガソリン 6.0
病虫害防除	5/下～11/中	ベンレート水和剤 ダニール1000 コサトフ3000 アデイオンフロアブル ダントツ水溶剤 ペフラン液剤25	50g 200cc 100g 130g 40g 100cc	動力噴霧機	○茎枯病を中心に、梅雨期や秋の降雨の前後に防除を行う。	9.0	2	21.3	ガソリン 21.3
茎葉刈り取り	12/上～12/中			刈払機	○茎葉が黄化したら刈り取り、ほ場外に持ち出し、焼却する。	1.0	2	8.0	混合油0.5
うね上の焼却	12/上			焼却用バーナー	○残茎を抜き取った後、うね表面の土壌を火炎放射機で焼却する。	16.0	1	16.0	灯油 40.0
堆肥マルチ	12/中		4000kg		○うね面焼却後、うね上に堆肥を置く		2	8.0	
合 計								101.3	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (% / 10a)
						機械利 用時間	組 員	延労働 時 間	
(2年目以降)									
春 肥 散 布	3/中	セルカ2号 野菜美人	100kg 40kg	人力			2	4.0	
除草剤散布	3/下	トリアリト [®] 乳剤	200cc	動力噴霧機	○萌芽前に散布する。	1.0	2	2.0	ガソリン 1.0
収穫・調整・出荷	4中~10/中	結束テープ ダンボール箱 クラフトテープ		人力 自動選別機 低温貯蔵庫 軽トラ	○若茎が28cmになったら地際より収穫する ○気温が低い時間に収穫する。 ○太さ、品質で選別し、調製後は鮮度を落さないよう、出荷まで低温庫等へ入れる。		2	76.9	
立 茎	(2年目) 5/上~5/下 (3年目以降) 5/下~6/中			人力	○1株当たりL級で3~4本の茎を確保する 立茎間隔を10cm以上とる。 ○成茎にふさわしい芽だけを立茎し、他の崩芽茎は収穫する。 ○立茎開始時期の目安は、萌芽茎が細くなり、1日当たりの収穫量が1kg/aを下まわようになった頃とする。				
倒 伏 防 止	5/中	支柱(180cm) フラーネット(20cm角3目) フラーネット(30cm角2目) ハウスバンド	334本 500m 500m 1,000m	人力	○支柱を3m間隔で立て、高さ1m程度の位置にネットを張る。 ○さらに高さ1.5m程度の位置にハウスバンドを張る。		2	8.0	
追 肥	4/上 4/中 5/上 5/中 6/上 6/中 7/上 8/上 9/上	野菜美人 ダブルクイックNN660 野菜美人 ダブルクイックNN660 ダブルクイックNN660 野菜美人 ダブルクイックNN660 野菜美人 野菜美人 野菜美人	40kg 20kg 30kg 20kg 20kg 30kg 20kg 30kg 30kg 30kg	人力	○うね上に肥料を散布する。		1 1 1 1 1 1 1 1 1	3.0 3.0 6.0 3.0 6.0 3.0 3.0 3.0 3.0	
か ん 水	5/下~8/下			かん水ポンプ	○土壌水分の状態をみて適宜行う。	5.0	1	6.0	ガソリン 10.0
病虫害防除	5/下~10/中	ベント水和剤 ハチハチフロアブル ダントツ水溶剤 コサト [®] 3000 アテ [®] イオンフロアブル カスケード [®] 乳剤 ダ [®] コニール1000 アファーム乳剤 ストロビ [®] -フロアブル ベ [®] フラン液剤	300g 200cc 100g 150cc 333cc 75cc 500cc 150cc 300cc 200cc	動力噴霧機	○茎枯病の防除を中心に行う。 ○収穫中はできるだけ農薬を使用しないように耕種的防除を心がける。	13.0	2	26.0	ガソリン 42.5
茎葉の刈り取り うね上の焼却	11/下 12/上~12/中			刈払機 焼却用バーナー	○茎葉が黄化したら株元から刈取り、ほ場外に持ち出して焼却処分する。 ○残茎を抜き取った後、うね表面の土壌を火炎放射機で焼却する。	1.0 24.0	2 1	8.0 24.0	混合油0.5 灯油 60.0
堆 肥 マルチ	12/中	堆肥	4,000kg	管理機	○うね面焼却後、うね上に堆肥を置く。	4.0	2	8.0	ガソリン 4.0
合 計								303.9	

5 経営試算(10aあたり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	1,067,850	アスパラガス 生産量①： 1,050 kg 単価②： 1,017 円/kg	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	1,067,850		
生産原価	種 苗 費	0		
	肥 料 費	66,006	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	35,798	〃	
	諸 材 料 費	64,617	〃	
	動力光熱費	55,201		
	農 具 費	7,453	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	1,134	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	0		
	雇 用 労 賃	5,040		
	減価償却費⑤	63,961	別表のとおり	
	土地改良費	4,285		
	支払地代⑥	3,700		
	小計 (B)	307,196		
費	販売費一般	出荷資材費	3,065	
	管理費	販 売 諸 費	399,095	
		諸税負担金	2,312	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	3,389	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	181	借入資本利子率2%
		小計 (C)	408,041	
経 営 費 (D)	715,237	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	392,210	農 従 労 働 時 間： 298.7 生産管理労働時間 3.0 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	1,107,447	主産物単位当たり 923 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	20,866	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	9,736	利子率4%	
自 作 地 地 代 (G)	3,700			
全算入生産費 (H)	1,141,749	生産物単位当たり 951 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	352,613	時間当たり 1,169 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	33	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-73,899	注) (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	318,311	時間当たり 1,055 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-39,597	注) (M) = (I) -⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
春肥散布								4.0																																4.0
除草剤散布									2.0																															2.0
収穫・調製・出荷											2.7	5.2	14.2	14.2	14.2	9.7	9.7	9.7	9.7	12.4	12.4	12.4	12.4	9.7	9.7	6.1	5.2	5.0	2.7										176.9	
立茎															3.0	3.0	2.0																						8.0	
倒伏防止														8.0																										8.0
追肥										3.0	3.0		6.0	3.0		6.0	3.0		3.0			3.0			3.0															33.0
かん水												1.0			1.0								1.0	1.0	1.0	1.0													6.0	
病虫害防除															2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		2.0		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0							26.0		
茎葉の刈り取り																																	8.0							8.0
うね上の焼却																																		12.0	12.0					24.0
堆肥マルチ																																				8.0				8.0
																																								0.0
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	2.0	3.0	5.7	6.2	20.2	25.2	20.2	20.7	16.7	11.7	14.7	14.4	15.4	16.4	15.4	10.7	14.7	8.1	7.2	7.0	4.7	0.0	0.0	0.0	8.0	12.0	20.0	0.0			303.9	

生産管理労働時間

(3.0)